

第 13 回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会） 意見要旨

■日 時：2023 年（令和 5 年）11 月 21 日（火）14：00～16：00

■名 簿：末頁のとおり

■議 事

- （1）第 12 回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）の議事概要
釧路都心部まちづくりに係る今後の想定スケジュール
- （2）第 2 回釧路都心部まちづくりフォーラムの開催結果報告
第 3 回釧路都心部まちづくりフォーラムの企画概要
市民ワークショップの開催結果報告
- （3）釧路駅周辺の再整備方針について
- （4）その他

■議事（1）第 12 回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）の議事概要**釧路都心部まちづくりに係る今後の想定スケジュール**

（高野座長）

- ・連続立体交差事業の大まかなスケジュールを教えてください。

（事務局）

- ・令和 2 年度に策定した都心部まちづくり計画【事業構想編】では、概ね 8 年後に事業着手と記載しており、令和 11 年度の事業認可・事業着手を目標に進めている。

（オブザーバー 田中補佐）

- ・連続立体交差事業の国の補助調査を道が主体となって実施しており、着工に向けた調査として令和 5 から 6 年度の 2 年間で実施していく予定である。
- ・この調査結果を踏まえて、着工できる体制が整えば、着工準備採択という段階に進む予定である。
- ・着工準備採択から事業認可までに概ね 4 年を要すると国から聞いているため、順調に進めば令和 7 年から概ね 4 年後に事業認可という形になると考えている。

（高見委員）

- ・旭川の鉄道高架化は平成 3 年度に国の補助調査が始まり、平成 9 年度に都市計画決定したため、似たようなスケジュールだと思っている。
- ・基幹 3 事業（鉄道高架事業、街路整備事業、土地区画整理事業）のおおよその事業費や事業期間について、この会議の中でできるかはさておき、その妥当性を議論していくことが必要である。
- ・国の補助調査が始まった現段階においては、基幹 3 事業だけでなく、周辺を見渡して今の段階で声をかけるべき事業がないかをチェックすることが重要である。
- ・旭川の場合は、川に面していたので、開発局の河川担当に飛び込んで何か一緒にやりませんかという形で始まり、それが結果として河川と一体となった環境づくりに繋がった。

- ・釧路の場合は、基幹３事業に併せて駅前に立地させるべきものがないかをチェックする時期だと思っている。関係ありそうな仲間をどんどん増やして、事業の相乗効果を上げるという時期であり、そういう議論を進められるとよい。

（事務局）

- ・現段階では、駅前に公共公益施設を設けることを計画している。施設選定については庁内において検討を進めており、しかるべきタイミングで公表していきたいと考えている。
- ・その他の関連事業についても、庁内会議の中で関係部局に対して声がけ、働きかけを行っていききたいと考えている。

（高見委員）

- ・駅前に豊かな公共空間をつくる方針で議論しているため、公共公益施設に加えて、緑系の空間や観光系の機能もあわせて考えていけるとよい。

（松井委員）

- ・一世一代の大きな公共事業なため、その動くきっかけを釧路市の発展や、釧路市が目指すものにうまくつなげていくことがこの事業の成否に大きく関わる。
- ・釧路市は人口や産業も縮退傾向にあるけれども、この大きな事業をきっかけに、例えば、子育てがしやすい、働きやすい、あるいは子どもや高齢者などの交通弱者が移動しやすい、そういう特徴を持ったまちになるように様々な政策を結集する。そうすると、事業が進んできたときに、子育て世代が集まってきたり、新たな産業が生まれたりする可能性がある。
- ・釧路市が目指すべき方向性を具体的に見つけて、この事業が、釧路市の発展を後押しするような事業になり、共感が得られる事業にしていくことがポイントだと思う。

（菅野委員）

- ・港湾サイドではリバーサイド、商業サイドでは釧路駅から北大通も含めた中心市街地全体、それと釧路駅周辺整備が一体となって賑わいをどうつくっていくか、政策レベルで庁内の議論を進めている。
- ・いただいたアドバイスを受け止めながら、目指す方向性や政策の具体化など、今後のまちづくりについて検討を進めていきたい。

■議事（２）第２回釧路都心部まちづくりフォーラムの開催結果報告

第３回釧路都心部まちづくりフォーラムの企画概要

市民ワークショップの開催結果報告

（オブザーバー 田中補佐）

- ・自転車やレンタサイクルに関する意見も見られた。これらの意見を実現するには、やりたいことがある人に都心部へ来てもらうための”交通”の視点が手薄だと感じた。都心部に来てもらうための公共交通をどのように確保するか、自動車で来てもらうなら都心部に長い時間滞在してもらうために駐車場はどうしたらよいのか、などを考えていけるとよい。

(事務局)

- ・公共交通とあわせて駐車場や自転車ネットワークなどについても今後の計画のなかに盛り込んでいきたいと考えている。

(高見委員)

- ・今回は“まちをどう使いたい”をユーザー目線で聞けたと思うので、これと並行して、このまちで私は“こういうことをしたい”という提供側を育てていくことも大事である。
- ・リノベーションスクールのように事業計画を立てさせて発表させるやり方もあり、有効な手法は模倣すればよいと思っている。
- ・熱海市では、起業したい人達が“自分はこういうことをやります”と発表する ATAMI2030 会議というものがある。役所に色々お願いするのではなく“自分でこれをやります”ということを自ら言うことが大事で、釧路も次はそういう段階に入って、自分だったらこのまちでこんな仕事してみせるという人を育てる。そういうワークショップみたいなものも今後考えられるとよい。

(松井委員)

- ・起業する人達は、起業する方法を学んだことがない。そのため、起業したい人を集めて訓練するのがリノベーションスクールで、そういった先進的なものを取り入れていくことはよい。併せて、役所ができることとして、起業する人たちを支援する環境（リーガルチェックに必要な弁護士を紹介する等）を並行して整えていけるとよい。
- ・この事業が完成するときには自動運転は普及していると思うので、今の段階で実証実験に手を挙げることも考えられる。雪国での自動運転は、実験フィールドが少ないため、国やメーカーがかなり手厚く支援しており、そういうことも取り入れていけるとよい。

■議事（３）釧路駅周辺の再整備方針について

(オブザーバー 小南課長)

- ・釧路駅への一般車送迎の利用は多いと思うが、現案の乗降場は駅から遠いため、近くに配置できると利便性が高まると考える。
- ・鉄道高架後のシミュレーションだが、南北の流れが少なく、東西の流れが多いように見られてたので、駅付近に小さな環状道路みたいなものがあれば、東西の交通量が南北に逃げて平均速度も上がるのではないかと感じた。そういう部分も検討していただければと思う。

(事務局)

- ・人と公共交通を中心という方針とは言いつつも、自動車の利便性向上にも配慮しながら検討を進める。
- ・小さな環状道路がどの程度の効果があるのか、人と公共交通中心の空間にどのような影響を与えるのかということも含めて検討を進めていきたい。

(高野座長)

- ・今回のシミュレーションは、駅周辺の狭い範囲を対象としており、並行して南北の流れが鉄道高架によってどのくらい改善するかも、広い範囲で議論していくことが必要である。

(事務局)

- ・今回のシミュレーションは駅直近の道路ネットワーク案の検証を主目的としており、狭い範囲で実施した場合の課題については認識している。連続立体交差事業の目的の1つである南北交通の円滑化の検証については、広域的な範囲を対象として別軸で検討していく。

(松井委員)

- ・連続立体交差事業は、道路を上げるよりも鉄道を高架化したほうが幹線道路に有利で、幹線道路の交通の処理に寄与するというのが基本となる。連続立体交差事業の採択にあたっては、そこは必ず示す必要がある。

(オブザーバー 小南課長)

- ・鉄道南北の交通をより円滑に流すという意味では、駅の東側に我々が管理してる道道もあり、その辺の道路の形状の工夫だとか、共栄新橋大通や柳町公園大通までスムーズに道路がつながっているように分かりやすく市民に見せていくことも必要と認識しており、釧路市と協力しながら検討していきたいと考えている。

(事務局)

- ・これまで広域的な交通については検討してきたところではあるが、B/C(費用対効果)も踏まえて、いま一度立ち戻って広域的な交通について道と市で連携を図りながら検討を進めていきたい。

(オブザーバー 小南課長)

- ・北大通から旭跨線橋に至る斜めの道路が通過交通を駅周辺に入れなかったための重要なネットワークと考えており、この道路の活用についても色々検討していきたいと考えている。

(高野座長)

- ・以前の協議会でも広域的な道路ネットワークの議論を結構やっていて、最近は駅中心に注力している。今後は、今のような道路の議論もこの協議会の中でやっていくってことになるのか。

(事務局)

- ・広域的な道路ネットワークについては道と市で定期的に協議しており、検討が深まったら、その都度この協議会で報告をさせていただきたい。

(高野座長)

- ・シミュレーションは、先ほどお話ししたいくつかの問題点を改良した形で、次回協議会に出されるということか。

(事務局)

- ・そのとおりである。まずは、交差点の信号現示や交通規制の変更、交通量が発生・集中する駐車場の配置の見直しなどで改善できないかを検証し、次回協議会にお示しする予定である。

■議事（４）その他

（高見委員）

- ・次年度あたりには駅舎をどういう水準でつくるかということを議論する必要がある。
- ・釧路の場合は恐らく標準設計並みという上限があると思うが、その中で設計をどう頑張るかを次年度あたりのタイミングで、皆さんで議論いただけたらと思う。
- ・函館駅はデンマーク国鉄と組んで意欲的な駅をつくった。岩見沢駅はコンペで駅をつくった。旭川駅も私どもと鉄道事業者と何度も議論させていただいて良い駅舎ができた。釧路駅はそういう努力に値する駅だと思っている。

以上

■第13回 釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）名簿

（敬称略）

		所属	役職	氏名	備考
1	委員	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門	教授	高野 伸栄	
2	委員	法政大学デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	教授	高見 公雄	
3	委員	日本測地設計（株）	副社長	松井 直人	
4	委員	釧路市 総合政策部	部長	菅野 隆博	
5	委員	釧路市 産業振興部	部長	風呂谷 文雄	濱下主幹が代理出席
6	委員	釧路市 産業振興部	観光振興担当部長	熊谷 伸勝	鈴木室長が代理出席
7	委員	釧路市 都市整備部	部長	高橋 一浩	高橋次長が代理出席
8	委員	釧路市 住宅都市部	部長	津田 学	
9	オブザーバー	北海道開発局 事業振興部 都市住宅課	課長	巖倉 啓子	中村計画調整係長が代理出席
10	オブザーバー	北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課	道路計画課長	平 記好	
11	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	課長補佐	田中 修	
12	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	係長	福田 久人	
13	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	課長	小南 貴範	
14	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	主査	宮木 康裕	
15	オブザーバー	北海道旅客鉄道（株）総合企画本部 地域計画部	主幹	小川 直仁	
16	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	都心部まちづくり担当部長	青柳 充保	
17	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	室長	吉岡 亨	
18	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	室長補佐	岩崎 充乗	
19	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	専門員	三上 覚矢	
20	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	主査	山下 展	